事例No.	2130
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	福島県

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT ・人材確保・育成

事例種類	教育

事例内容・タイトル

ICTを活用した探究的な学びを実践協力校において実証

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

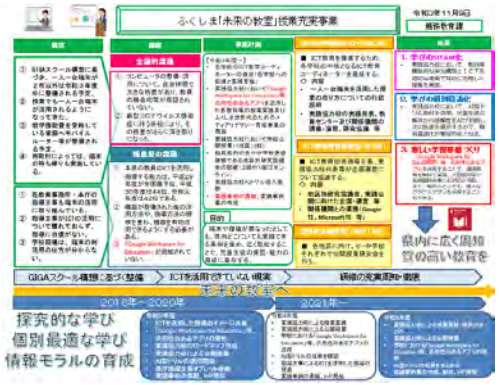
150 ICTを活用した探究的な学びを実践協力校において実証【福島県】

事業の概要

○ 福島県では、「ふくしま『未来の教室』授業充実事業」のもと、県内7地区の小中学校(計14校)を実践協力校として指定し、ICTを活用した授業の実践事例を積み重ね、県内各校に展開していくこととしている。

○ 各実践協力校において、令和４年度は小学校５学年、中学校２学年を研究指定学年として、汎用性のあるクラウドアプリやAIドリルを活用した授業実践を行い、効果検証を行う。

○ また、実践協力校における公開授業の実施や、地区別の研究協議会における成果発表等を通じて、県全体の教育の質を向上させることとしている。



【参考情報】 人口：186.3万人
関連URL：
http://cms.pref.fukushima.lg.jp/sec/70056a/mirainokyoushitsu.html
（福島県教育委員会ホームページ）

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）

１人１台端末等の環境が整備され、教員が授業にICTを活用することがますます重要となります。しかし、本県の「教員のICTを活用して指導する能力」には課題があり、指導方法やICTの有効活用についての研修等を行う必要があると考えました。そこで、本県において、端末や環境が異なっていても、県内のどこにいても実践できるような事例を集め、広く周知することで児童生徒の資質・能力の育成に寄与できるよう、本事業を立ち上げました。



（福島県）



実践事例をどのようにして周知しているのですか？

県内７地区で行われる２回の研究協議会において、実践協力校の取組を地区内のすべての小・中学校の情報教育担当教員と共有しています。また、実践協力校の実践事例を県教育委員会のホームページに「ICT活用シート」として掲載し、県内の教員がICTを活用した授業に取り組めるようにしています。



【ICT活用シート】



★担当：福島県教育庁 義務教育課★

令和3年度事業費 19,147千円